

れい わ ねん ど  
令和 7 年度  
きゅう ど ぼく せ こうかん り ぎ じゅつけんてい  
2 級 土木施工管理技術 検定  
だい に じ けんてい し けんもんだい しゅべつ ど ぼく  
第二次検定試験問題（種別：土木）

つぎ ちゅう い よ  
次の注 意をよく読んでから解答してください。

ちゅう い  
【注 意】

- これは第二次検定試験問題（種別：土木）で、表紙とも6枚あります。  
えんぴつ または シャープペンシルで、解答用紙に試験地・受検番号・氏名を記入してください。  
まんねん ひつ しよう ふ か  
（万年筆・ボールペンの使用は不可）  
かいとう ていせい ば あい け  
解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。
- 問題1～問題5は全問解答してください。  
もんだい もんだい ぜんもんかいとう  
問題1の工事概要及び設問1のいずれかが無記載等の場合、不合格となります。  
もんだい こう じ がいようおよ せつもん む き さいとう ば あい ふ ごうかく  
問題6～問題9は選択問題（1）、（2）です。選択した問題は、解答用紙の選択欄に○印を  
もんだい もんだい せんたくもんだい せんたく もんだい かいとうよう し せんたくらん じるし  
必ず記入してください。  
かなら き にゅう  
・選択問題（1）は、問題6、問題7のうち1問を解答してください。（2問解答すると減点）  
せんたくもんだい もんだい もんだい もん かいとう もんかいとう げんてん  
・選択問題（2）は、問題8、問題9のうち1問を解答してください。（2問解答すると減点）  
せんたくもんだい もんだい もんだい もん かいとう もんかいとう げんてん
- 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。  
し けんもんだい かん じ もんだいぶん ないよう えいきょう あた
- 解答には、漢字のふりがなは必要ありません。  
かいとう かん じ ひつよう
- 試験問題の余白は、計算等にもさしつかえありません。  
し けんもんだい よ はく けいさんとう し しょう
- 解答用紙は、試験監督者に直接提出してから退室してください。  
かいとうよう し し けんかんとうしゃ ちよくせつていしゅつ たいしつ  
解答用紙は、いかなる場合も持ち帰りできません。  
かいとうよう し ば あい も かえ
- 試験問題は、試験終了時刻（16時00分）まで在席した方で、希望者に限り持ち帰りを  
し けんもんだい し けんしゅうりょう じ こと じ ふん ざいせき かた き ぼうしゃ かぎ も かえ  
認めます。途中退室者は、持ち帰りできません。  
みと とちゅうたいしつしゃ も かえ

ちゅう い もんだい もんだい ぜんもんかいとう  
(注 意) 問題 1 ～問題 5 は全問解答してください。

もんだい  
問題 1 で

- ① 工事概要の解答が無記載又は記述漏れがある場合、  
② 設問 1 の解答が無記載又は設問で求められている内容以外の記述の場合、  
どちらの場合も不合格となります。

ひつ す もんだい  
必須問題

【問題 1】 あなたが経験した土木工事を 1 つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、  
次の〔設問 1〕、〔設問 2〕に答えなさい。  
なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は、失格となります。

〔工事概要〕 あなたが経験した土木工事に 関し、次の事項について解答欄に明確に記述しなさい。

〔注 意〕 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合、あなたの所属会社が受注した  
工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合、発  
注者名は一次下請業者名となります。  
なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

- (1) 工 事 名
- (2) 工事現場における施工管理上のあなたの立場
- (3) 工事の内容
  - ① 発注者名
  - ② 工事場所
  - ③ 工 期
  - ④ 主な工種
  - ⑤ 施 工 量

〔設問 1〕 工事概要に記述した工事の「安全管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

- (1) 具体的な現場状況と特に留意した安全管理上の技術的課題
- (2) (1)で記述した技術的課題を解決するために検討した項目とその対応処置

〔設問 2〕 工事概要に記述した工事の現場状況から特に留意した「工程管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

- (1) 施工条件や現場周辺の状況の観点から、工程管理上、留意した事項  
(工事着手前，工事中のいずれでも可)
- (2) (1)で記述した留意事項に対して講じた対策とその理由

ひつす もんだい  
必須問題

もんだい  
【問題 2】

けんせつこうじ へんしつかんり かん つぎ ぶんしょうちゅう  
建設工事における品質管理に関して、次の文章 中の  の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な  
こくまた いうち か き えら かいとうらん きにゆう  
語句又は数値を、下記から選び解答欄に記入しなさい。

- (1) トラフィカビリティーは、えんすいがた せんたん じぼん お こ じぼん かた し ぐあい  
円錐型の先端を地盤に押し込み、地盤の固さや締め具合を  
しら しけん き そくてい  (イ) あたい はんたん  
調べる試験機で、測定した  の値で判断される。
- (2) へいばんさい か しけん さい かばん すいちよく か じゅう あた か じゅう ちん かりょう かんけい  
平板載荷試験とは、載荷板に垂直荷重を与え、荷重と沈下量との関係から  (ロ)  
けいすう きよくげん し じりよくとう とくせい しら しけん  
係数や極限支持力等の特性を調べるための試験である。
- (3) コンクリートの配合における  (ハ) は、65 % 以下で、かつ、しょう きょうど れっか  
所要の強度や劣化に  
たい ていこうせいとう まんぞく あたい さいしょう あたい せつてい  
対する抵抗性等を満足する値のうち、最小の値に設定する。
- (4) にちへいきん き おん  (ニ) °C を超えるとそうてい ばあい しょうちゅう  
日平均気温が  °C を超えると想定される場合には、暑中コンクリートとして  
せこう  
施工しなければならない。
- (5) ろしょう じょうぶ せこう ほしょう いったい こうつう か じゅう ささ つよ ほしょう あつ  
路床は、上部に施工される舗装と一体となり交通荷重を支え、その強さは舗装の厚さ  
をきめ ん 基礎となるもので、ろしょう つよ  (ホ) しけん はんてい  
を決める基礎となるもので、路床の強さは  試験によって判定する。

こくまた いうち  
[語句又は数値]

|                  |                 |               |                   |                 |
|------------------|-----------------|---------------|-------------------|-----------------|
| あつみつ<br>圧密,      | あつしゆく ひ<br>圧縮比, | しすう<br>コーン指数, | じぼんはんりよく<br>地盤反力, | そせいしすう<br>塑性指数, |
| たわみしすう<br>たわみ指数, | だんせい<br>弾性,     | ひっぱり<br>引張,   | ポアソン比,            | ま<br>曲げ,        |
| みず ひ<br>水セメント比,  | CBR,            | 15,           | 20,               | 25              |

ひつす もんだい  
必須問題

もんだい  
【問題 3】

けんせつこうじ 建設工事において用いられるもち か き こうていひょう 下記の工程表 ①～③から 2 つえら 選び、ばんごう 番号とそのとくちょう 特徴について、  
それぞれかいとうらん き じゅつ 解答欄に記述しなさい。  
ただし、どういつばんごう 同一番号のかいとう 解答はふ か 不可とする。

- ① バーチャート
- ② グラフ式工程表  
しきこうていひょう
- ③ 出来高累計曲線  
で き だかるいけいきよくせん

ひつす もんだい  
必須問題

もんだい  
【問題 4】

もりど せこう かん つぎ ふんしょうちゅう  
盛土の施工に関する次の文章 中の  の(イ)～(ホ)にあてはまる適切な語句を、下記から選び  
かいどうらん きにゅう  
解答欄に記入しなさい。

- (1) き そ じ ばん なんじゃく  (イ) が ふ ぞ く 不足している場合や、ち か すい ふく 地下水を含んでおり施工が困難  
ば あい おきかえ ひょうそうしやり さい か だっすい しめかた こ けつとう こうほう  
な場合は、置換・表層処理・載荷・脱水・締固め・固結等の工法により、基礎地盤を改  
りょう ほ きょう  
良して補強しなければならない。
- (2) もりど りよう つち  (ロ) きょうど おお 強度が大きく  (ハ) ちい 小さいもので、施工  
ようい もち  
が容易なものをを用いる。
- (3) でんし じょうほう かつよう こうりつてき こうせい ど せこう おこな  (ニ) どう 土工といい、こうじ  
にあ じゅん び こうじ まえ げん ば ち けい せつ けい どうこうぞうぶつ し あが けいじょう  
に合わせて準備した工事前の現場の地形や設計した土工構造物の仕上り形状を、  
 (ホ) へんかん かつよう し あが けいじょう ようきゅう せい の う み こうりつ よ  
データに変換し活用することで、仕上り形状や要求する性能を満たす効率の良  
もりど こうじ じっし  
い盛土工事が実施できる。

こく  
[語句]

|                 |                 |                 |                 |             |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| あつしゆくせい<br>圧縮性, | えんちよく<br>鉛直,    | きんちようせい<br>緊張性, | くつきりよく<br>掘削力,  | すいへい<br>水平, |
| せん だん<br>せん断,   | ち たいりよく<br>地耐力, | ほ すいりよく<br>保水力, | りゅうどうせい<br>流動性, | EPS,        |
| ICT,            | UAV,            | じ げん<br>2次元,    | じ げん<br>3次元,    | じ げん<br>4次元 |

ひつす もんだい  
必須問題

もんだい  
【問題5】

コンクリートに関する下記の用語①～④から2つ選び、番号とその用語の説明についてそれぞれ  
解答欄に記述しなさい。

ただし、同一番号の解答は不可とする。

- ① スペーサ
- ② コールドジョイント
- ③ ブリーディング
- ④ ワーカビリティ

問題6～問題9は選択問題（1），（2）です。

（注意）

問題6，問題7のうち1問を解答してください。（2問解答すると減点）

選択した問題は，解答用紙の選択欄に○印を必ず記入してください。

選択問題（1）

【問題6】

盛土の締固め管理方法に関する次の文章中の□の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を，下記から選び解答欄に記入しなさい。

- (1) 盛土工事の現場で締固めを入念に行う目的は，土の空気間隙を少なくすることにより土を安定した状態にすることや，盛土法面の安定及び土の支持力の増加等，土の構造物として必要な□(イ)特性が得られるようにすることである。
- また，完成後の盛土に求められる変形□(ロ)及び圧縮□(ロ)を確保する目的もある。
- (2) 締固めの効果や特性は，土の種類や□(ハ)の状態及び施工方法によって大きく変化するので，現場では目的に応じた効率のよい締固めを行うことが大切である。
- (3) 品質規定方式は，盛土に必要な品質を□(ニ)に明示し，締固めの工法は□(ホ)に任せ，現場における土の締固めの程度を締固め度で規定する方法である。

[語句]

|      |     |      |      |      |
|------|-----|------|------|------|
| 運転者， | 回転， | 攪拌，  | 含水，  | 強度，  |
| 契約書， | 収縮， | 仕様書， | 施工者， | せん断， |
| 抵抗，  | 軟弱， | 発注者， | 膨張，  | 予算書  |



せんたく もんだい  
選択問題 (1)

もんだい  
【問題 7】

レディーミクストコンクリート (JIS A 5308) の受入れ検査に関する次の文章 中の  の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句又は数値を、下記から選び解答欄に記入しなさい。

- (1) レディーミクストコンクリートの受入れにあたって、購入者は  (イ) 時に受入れ検査を行う。
- (2)  (ロ) の規定値が 12 cm の場合、許容差は  $\pm 2.5$  cm である。
- (3) 普通コンクリートの空気量の規定値は  (ハ) % であり、許容差は  $\pm 1.5$  % である。
- (4) コンクリート中の  (ニ) 含有量は  $0.3 \text{ kg/m}^3$  以下と規定されている。
- (5) 圧縮強度の 1 回の試験結果とは、任意の 1 運搬車から採取した  (ホ) 本の供試体において、所定の材齢まで養生してから測定した圧縮強度の平均値である。

こくまた すうち  
[語句又は数値]

|                  |                 |              |       |             |
|------------------|-----------------|--------------|-------|-------------|
| アルカリ,            | えん か ぶつ<br>塩化物, | かんせい<br>完成,  | スランプ, | せいぞう<br>製造, |
| ちん か りやう<br>沈下量, | でいぶん<br>泥分,     | に おろし<br>荷卸, | フロー,  | 2,          |
| 3,               | 3.5,            | 4.5,         | 5.5,  | 6           |

ちゅうい  
(注意)

もんだい もんだい もん かいとう もんかいとう げんてん  
問題 8, 問題 9 のうち 1 問を解答してください。(2 問解答すると減点)

せんたく もんだい かいとうようし せんたくらん じるし かなら きにゅう  
選択した問題は, 解答用紙の選択欄に○印を必ず記入してください。

せんたくもんだい  
選択問題 (2)

もんだい  
【問題 8】

こうじ げんば いどうしき もち さぎょう おこな とき とうあんぜん きそく さだ  
工事現場において移動式クレーンを用いて作業を行う時, クレーン等安全規則に定められている  
事業者が実施すべき施工上の留意点について 2 つ解答欄に記述しなさい。

ただし, 玉掛け作業は除く。また, (例) と同一内容は不可とする。

せんたくもんだい  
選択問題 (2)

もんだい  
【問題 9】

か ず げんば う じゅうりょくしきようへき こうちく ばあい せこうて じゅん もと こうしゅめい きじゅつ  
下図の現場打ちコンクリートの重 力式擁壁を構築する場合, 施工手順に基づき工種名を記述  
した工程表を作成し, 全所要日数を求め解答欄に記述しなさい。

かくこうしゅ さぎょうにつすう つぎ  
各工種の作業日数は次のとおりとする。

- ・コンクリート打込み工 2 日, 基礎工 3 日, 型枠組立工 3 日, 養生工 7 日, 床掘工 6 日,  
型枠取外し工 1 日, 埋戻し工 2 日とし, 基礎工については床掘工と 2 日の重複作業で行  
うものとする。

